

3月 主題 「わすれない-これからもともに-」 聖書 ヨハネによる福音書 10章1～5節
『1はっきり言うておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。2 門から入る者が羊飼である。3 門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。4 自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているの、ついて行く(中心聖句)。5 しかし、ほかの者には決してついて行かず、逃げ去る。ほかの者たちの声を知らないからである。』

「暖かい眼差しで見届けて下さるイエス様」

もうすぐ一年の保育の歩みが終わりの時を迎えようとしています。子ども達は、この3月と言う最後の時を、どのように過ごしているのでしょうか。

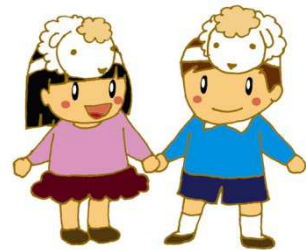
「もうすぐ小学校だね」、「四月には一つ大きなクラスになるね」、「小さなお友だちが来るんだね」と、卒園や進級の日が身近に意識している子ども達がいれば、自分たちの遊びにひたすら取り組んでいる子ども達もいます。私たち職員も、様々な思いでこの時を迎えています。同様に、毎日、子ども達と向き合っている保護者の皆さま方も同じ気持ちでおられることではないでしょうか。卒園や進級と言う生活の区切りが、子ども達にとって、自信や喜びを得て更なる成長への素晴らしい切っ掛け(新しい旅立ち)となるように、この時を大切に過ごして行きたいと願います。

ところで、子ども達だけでなく、私たち大人も、どのような時に自信と喜びを持って前向きに生きて行くことが出来るのでしょうか。それはきっと、何か得意なものがあるからと言うのではなく、周りの人々に理解され、信頼されて自分らしさを失わずに歩んでいる時でしょう。そんな時には、たとえ難しい状況があっても前向きに取り組むことが出来るのではないのでしょうか。実は、子ども達も同じです。卒園や進級という節目には、子ども達自身も大人と同じように喜びと共に不安を抱きながら、周りの支えを得て、前向きに歩いて行くのです。

私たち大人は、子ども達が何か出来るようになることで自信をつけていく、と思い込んでいます。だから、得意なことを見つけようとして色々なことに取り組ませたり、苦手なことを練習させたりすることが少なくありません。けれど、本当の自信を支えているのは、何か出来ることではなく、ありのままの自分が受け入れられていること、愛されていることが分かることです。

聖愛保育園が設立されて以来、大切に育んできたキリスト教保育の素晴らしさは、神さまやイエス様と出会い、触れることで、神さまに愛されていること、ありのままの自分が受け入れられていることを知ることであります。

特に、最後の聖書のみ言葉には、イエス様が羊飼として、羊である私たちや子ども達を「自分の羊」と仰られています。ここでは、私たちや子ども達一人ひとりが、神さまの恵みと祝福、更には愛に満たされている領域の中で守られている羊とされていることが述べられています。



愛され、理解され、安心して自分らしく過ごせる中で、子ども達はこれまでに培ってきた力を自分から使おうとし、経験してきたことよりも一歩先を目指そうとします。これがこの幼少期における成長の力なのです。私たち大人は、この力を活かし、子ども自身にも周りの人々にも喜びとなるような機会を作っていくように、育んでいきたいものです。又、親として、保護者として、子どもの課題を心に留めていることは必要ですが、短い期間にあれもこれもと求めるのではなく、むしろ、ゆったりと自分の遊びに取り組める時間を作ったり、期待と不安の中にある子どもの気持ちに寄り添い、話を聞いたり、共感し合う時を大切に育んでいきたいものです。

最後に、本園の特徴は、いつでもイエス様が、子ども達と共にいて下さることを覚え、祈りつつ、安心してこれからの人生をそのように歩んでほしい、と願って保育を行っていることです。イエス様を目で見ることは

出来ませんが、毎朝のクラス礼拝の中で、祈りや聖書のお話を通して、子ども達の心の中にイエス様のイメージがつけられます。「イエス様が見守っていて下さる」という暖かい眼差しの中で、子ども達が安心して歩んで行くことが出来ますように。そして、未知の状況にも心を開き、いつも喜びや願いを持って生きる人へと成長して欲しい、と願っています。

すずらん組のお友達を始め、転出されていくお友達は、新しい道へと旅立ちます。卒園・修了式は、子ども達にとっては、大切な節目です。けれど、「卒園＝別れ」ということではなく、「成長・喜び・期待・希望…」と言うように、子ども達が、それぞれの新しい道へと元気よく歩いていくことが出来ますように心からお祈り致します。

行事予定

● 3月28日(土) 第63回修了・卒園式・保護者会総会

● 3月31日(火) 2014年度保育終了日

※ 3月30日(月)～31日(火)は、新年度の保育準備のため予備日となっています。

2015年度

◎ 4月1日(水) 第64回入園・進級式

◎ 4月5日(日) イースター主日礼拝(復活祭)

※ 日曜礼拝は、誰でもご自由に参加することが出来ます。

◎ 4月8日(水) 英会話(ゆり組、すずらん組)

◎ 4月9日(木) 合同礼拝(以上児クラス)

◎ 4月11日(土) 台湾私立保育園連盟園長視察旅行来園

◎ 4月15日(水) 春のお見知り遠足

※ 後日、案内文書を配布致します。

◎ 4月16日(木) 避難訓練

◎ 4月22日(水) 英会話(すずらん組)

◎ 4月23日(木) 合同礼拝・誕生日会

◎ 4月23日(木) 園医健康診断(岩男病院) 午後開始

◎ 4月28日(火) 歯科検診(田代歯科) 午前開始

※ 保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますよう宜しくお願い致します。



於：湯布院スポーツセンター

お知らせ

☆ 新しいお友達を紹介します。宜しくお願い致します。

ちゅうりっぷ組 上野 幸音 (うえの ゆきね) ちゃん

ひまわり組 恵良 光士郎 (えら こうしろう) くん



☆ 卒園・修了式について

卒園・修了式のプログラムについては、裏面に記載していますのでご覧下さい。

又、卒園・修了式当日は、誠に申し訳ございませんが、以上児クラスの保護者の方は、仮設園舎前の広場に車を留め下さい。未満児クラスの保護者の方は、いつもの職員駐車場に駐車して頂けますよう宜しくお願い致します。

☆ 毎週日曜日午前9時から9時30分まで子ども達の教会学校を行っています。静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしてみませんか。

関心のある方は、小森 牧師(園長)、黒田副園長、あるいは利光 先生までご連絡下さい。

又、4月5日(日)は、イースター礼拝(復活祭)と言う特別な礼拝を行いますので、教会学校の礼拝は、休会と致します。

卒園式（3月28日・土）についてのご案内

当日の流れ

時 間	3, 4, 5 歳児	0, 1, 2 歳児	保 護 者
8 時 1 5 分 8 時 3 0 分 8 時 5 0 分	すずらん組登園 その他のクラス登園 すずらん組とお別かれ すみれ、ゆり組順次、 会堂に入場 卒園児会堂に入場	その他のクラス登園 各クラスにて保育士と 過ごす	全クラス保護者会堂入室
9 時	卒園式開始		
1 0 時 3 0 分	各クラスで、証書・記念品をお渡しします。 各クラスでのお別れ会	各クラスにて記念品をお渡しします。 各クラスでのお別れ会	保護者会総会 各クラスへ移動 各クラスでのお別れ会
1 1 時 1 5 分	保護者と園庭へ 卒園児をお見送り	保護者と園庭へ	卒園児をお見送り

○ 保護者の方は 8 時 5 0 分までには会堂へお入り下さい。

- ・ 会堂内での携帯電話の使用は、固くお断り致します。
- ・ 私語は謹んで、卒園式に相応しい姿勢でご出席下さいますよう宜しくお願いします。

○ 卒園児保護者席は前方右側 3 列目と左側来賓席の後席 2 列にご着席下さい。

○ 卒園式終了後、保護者会総会、各クラスでのお別かれ会を済ませた後、11時15分頃、「蛍の光」を流しますので園庭にて卒園児をお送り下さい。お見送りが終わり次第、降園となります。

ennpou Seiai (2015・3・26)